

オンライン 1級面接合格対策 第13回本試験ケース（事例相談者タイプ別）ロープレ 110分

日程 カリキュラム (110分) 20:00 から 21:40

(税込み価格)

本ケースの分析を行うメリットは以下の5つです。

- ① 事例相談者が行ったことや相談したいことを理解し、ロープレにおいて関係構築を強化します（関係構築力と問題把握力）
- ② 事例相談者が気付いていない面談技法上のクセを見立て、気づいてもらうための方向性をアドバイスします（問題把握力）
- ③ システマティックアプローチのプロセスで問題を把握し、その解決を目標にすることで、目標設定での抵抗や不同意が少なくなります（問題把握力と具体的展開力）
- ④ 目標の候補をいくつか用意しておくことで、その場でできる数分程度の方策（レッスン）を用意しておくことができます（問題把握力と具体的展開力）
- ⑤ 受講者2名で事例指導者役と事例相談者役を交代で行い、担当講師から、**本試験までに補填しておく項目と具体的な方法をアドバイスします**

日程	講義とロールプレイのケース	オンライン ロープレと口頭式問と講師フィードバック 110分	会員	一般
① 1月9日 (火) タイプ 関係重視型 (ケース 1)	タイプ「関係重視型」の事例相談者の分析	「関係重視型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行うレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
	「Aさんのこれまでのご苦労は大変なものだった。頑張ってきたことの成果として」といっています。			
② 1月16日 (火) タイプ 問題解決型 (ケース 2)	タイプ「問題解決型」の事例相談者の分析	「問題解決型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行うレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
	「経済面の安定を図ることを最優先にすべきと考え、まずは経験や能力を活かせる仕事を広く検討するように提案」といっています。			
③ 1月23日 (火) タイプ 相談者対応型 (ケース 3)	タイプ「相談者対応型」の事例相談者の分析	「相談者対応型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行うレッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
	相談者はまだ内定はもらえていないが「まずは、コロナ禍で大学生活を送ったCさんの気持ちを受け止めるよう努めた」と言っており、相談者の発言に引きずられ確認しないまま「自己分析を行うことを提案しています」			
3日間完全受講の方（※キャンセルはできません）			39,900	49,500